

企業利益と開発効果

IFCは如何にそのギャップを埋めているか

DC Development Forum

BBL Presentation

May 21, 2003

国際金融公社(IFC)信託基金局

東眞理子

開発における民間企業の役割

- 雇用機会の創出
- 税収 → 基本サービスの提供
- 投資 → 経済成長
- 知識の活用場
- エンパワーメント

IFCの役割の変化

投融资のみから技術協力との組み合わせへ。

- 80年代までは民間投融资に特化した唯一のIFI
- 90年代以降、民間資金の流入、他のIFIの参入により投融资量では相対的に地位が低下
- グローバリゼーションの負の面の顕在化
- 現地からの期待とIFCの戦略の変化

IFCにおける技術協力 付随業務からメインストリームへ

- 民間投融资の経験
- 技術協力の実績
- スタンドアード作りの実績
- 世銀グループとしてのリベレージ

民間投資と技術協力 基本原則

- IFCの本来の業務を置換するものではない(e.g.スタッフのコスト、due diligence)
- 「補助金」は一時的なもの
- 透明性の確保
- 民間のイニシアティブを補完する
- 民間企業として自立させるための、多様なモデルを試す
- 他のケースへの応用性

(例) 金融セクター

- 銀行員の訓練
(例) 上海銀行(IFCの投資先)等16行対象
- マイクロファイナンス銀行への支援
(例) カンボジア国アクレダ銀行(IFCの投資先)
- リース業
(例) 中央アジア地域リース法整備

(例) インフラストラクチャー

- タジキスタン国パミールエネルギー案件

総コスト: \$26mil.

投資(\$10.5mil.) IFC 50%

アガカーン 50%

融資(\$15.5mil.) IFC(\$5.5mil.)

IDA (\$10mil.)

グラント スイス政府 (\$5mil. 電力料金補助)

- グラントを混ぜることにより電力料金が低下

(例) SMEリンケージ

- チャドカメルーン: パイプライン事業
- ロシア: イスパットカルメット製鉄会社
- モザンビーク: モザールアルミ精錬事業

サプライヤーの育成

SME(インキュベーター等)、

マクロファイナンス銀行への技術協力、

農産物供給 等

(例) エネルギー効率向上

- ハンガリー等
- IFCとGEF: 現地金融機関向けPartial Guarantee Facility
- グラント: 現地金融機関および借り手向けトレーニング

技術協力の費用

- ほとんどがドナー国からの拠出金
- 年間総額75～100百万ドル
 - コンサルタント信託基金 20百万ドル
 - SMEや環境ファシリティ 50～75百万ドル

日本への提言

- 専門家(個人、コンサル会社)の登用
- (例)金融分野
 - 債権市場育成
 - 住宅専門金融
 - マイクロファイナンス
 - リーシング業
- (例)SMEリンケージ

日本への提言(続)

- 革新的な民間案件形成の提言

JBIC, JICA, METI、その他関係者の資金、
ノウハウを国際機関とつなげる。